



第377号

2018年 3月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

聖香油ミサのご案内
名古屋教区司祭団が一致して捧げるミサ。ミサの中で司祭の約束の更新が行われ、秘跡の執行に用いる聖香油病者の油、洗礼志願者の油の聖別と祝福を行います。

過越しの聖なる三日間
3月29日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
3月30日(金) 聖金曜日(主の受難)(天斎・小斎)
3月31日(土) 聖土曜日(復活の徹夜祭)
4月1日(日) 復活の主日

教区ホームページ

福音のひびき

3月の説教者

4日 四旬節第3主日 野村 純一 (名東教会)

11日 四旬節第4主日 チブリアノ・ボンタッキョ (金沢教会・七尾教会)

18日 四旬節第5主日 鄭 有喆 (美濃加茂教会)

25日 受難の主日 山口 正美 (港教会)

福者ユスト高山右近殉教者、

1回目の記念日ミサ

2月3日、金沢教会 100人が祈り

2月3日、福者ユスト高山右近殉教者の列福後初となる名古屋教区の記念日ミサが、右近とゆかりが深い金沢教会で執り行われた。同教会をはじめ、北陸3県の信徒、シスターら約100人が集い、右近に神への取り次ぎを願うとともに、信仰に殉じた右近の姿に敬う心を新たにされた。



ミサは松浦悟郎司教の主司式、教区殉教者顕彰委員会の浅井太郎神父、金沢教会主任司祭のチブリアノ・ボンタッキョ神父をはじめ、北陸3県の司祭合わせて10人による共同司式で進められた。開祭の司祭団入堂では、金沢教会が30年前から歌い続けているオリジナルの高山右近讃歌「光

は今も」が、「加賀の野に、能登の海に」の歌詞とともに声高らかに歌われた。松浦司教は、日本司教協議会から贈られ、聖堂に安置された右近の聖遺物に献香した。説教で松浦司教は、右近の列福申請に尽力したヴィットベル神父の言葉を紹介しながら「次第に信仰を強めていった高山右近の歩みそのものに心を留めましょう」と呼びかけた。全員で右近の列聖を求める祈りを唱えた。

ミサのあと、教会ロビーで交流茶話会が開かれ、参加者は松浦司教らと懇談の輪を広げた。ミサ参加者からは「次なる列聖に向け、さあこれからだ、との思いを起こさせる心に残る良いミサだった」との声が聞かれた。金沢教会は昨年2月7日の列福式のあと、聖堂前に建つ高山右近像の足元に、列福の経緯を記したプレートを設置した。手作りのパンフレットと併せて、教会来訪者に高山右近の足跡を伝えている。

名古屋教区殉教者祭は、2月3日、名古屋市中区の栄国寺で開催された。記録的な寒さを更新した今年の冬にあつて、いっ

ある寛文年間の美濃の国(岐阜県)可児郡塩村の24人が捕らえられた美濃崩れを紹介した。この可児の塩村のキリシタン

の地は350年前の同じ日に実際に処刑が行われたお仕置場であつたと、そして、この地に立つ2本の大きな「クロガネモチ」と「ツブラライ」という名古屋市の指定の木にまつわる話を語り始めた。

名古屋教区殉教者祭は、2月3日、名古屋市中区の栄国寺で開催された。記録的な寒さを更新した今年の冬にあつて、いっ

ある寛文年間の美濃の国(岐阜県)可児郡塩村の24人が捕らえられた美濃崩れを紹介した。この可児の塩村のキリシタン

の地は350年前の同じ日に実際に処刑が行われたお仕置場であつたと、そして、この地に立つ2本の大きな「クロガネモチ」と「ツブラライ」という名古屋市の指定の木にまつわる話を語り始めた。

の地は350年前の同じ日に実際に処刑が行われたお仕置場であつたと、そして、この地に立つ2本の大きな「クロガネモチ」と「ツブラライ」という名古屋市の指定の木にまつわる話を語り始めた。

名古屋教区殉教者祭

栄国寺

栄国寺についてお話しする 若松一雅住職



また、よく知られている崩れのうち、1700年代から1869(明治2)年の四番崩れまで続いた浦上四番崩れやキリシタン大名、大友宗麟の領地内で起きた大分の豊後崩れ、キリシタン大名、大村純忠の領地内で起きた大村の郡崩れなどを挙げ、この美濃崩れもそれに劣らない大きな崩れだつたことを語った。

塩村のキリシタンの存在が分かつたのち、その領主の願いによって幕府の指示で尾張藩では、急遽キリシタン奉行を創設して宗旨改めを実施し、1665(寛文4)年2月3日、27名がこの地で処刑されたことを思い起こすために、今日ここに集まって殉教者祭を行う意義を説いた。

また司教は、この尾張、美濃における殉教者が、寛文年間には尾張で16

そして司教は、「現代の私たちが、この殉教者たちから何を学び取るかは私たちが自身の私たちに課せられた課題でしょう。そしてその学びから私たちの信仰を深め健全な信仰としてさらに発展させていくことが出来れば、幸いなことではないかと思ひます。」と語り締めくくった。

最後に、参加者との来年の再会を約束して、殉教者祭は和やかに閉じられた。

ミサ中の献金(全額)10万円余は栄国寺に献金された。(殉教者顕彰委員会 海付順雄)

世界青年の日 受難の主日
国連が定めた「国際青年」年の1985年、受難の主日に、青年たちはこの十字架とともに教皇のもとに集まりました。教皇はこの年、受難の主日を毎年「世界青年の日」として祝うように定め、2~3年に一度は、世界中の青年が教皇と出会うワールドユースデー(WYD)が開かれるようになりました。2019年には、中米パナマでWYDが開催されます。

聖地のための献金 聖金曜日
全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などのために使われています。

性虐待被害者のための祈りと償いの日
日時 3月24日(土) 14:00~16:00 (13:30受付開始)
場所 カトリック布池教会小聖堂(信者会館2階)
(プログラム)
司会 宮本信代(カトリック中央協議会秘書)
14:00 開会あいさつ 司祭 岩崎一二三
14:10 DVD上映「祈りと償いの日」
14:40 カトリック名古屋教区の取り組み セクシャルハラスメント対策委員会 委員長 小瀬木尚美
15:00 ミサ 司教 松浦悟郎
16:00 閉会
問合せ 一般社団法人愛知総合 HEAR センター 小瀬木
☎/Fax: 052-932-9337 月・火・木 10:00~18:00
E-mail: info@mentana.nagoya
主催 カトリック名古屋教区セクシャルハラスメント対策委員会

性虐待被害者のための祈りと償いの日
2016年、教皇フランシスコは、子どもに対する教会のメンバーの責任について明確に意識できるように、神により頼む日として「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるよう全世界の司教団に通達されました。これを受けて日本の教会は、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を四旬節第二金曜日と定め、祈りと償い、被害者の痛みを学ぶ機会としました。教会のメンバーが犯した罪を認め、共同体として神からのゆるしを願い、被害者とその家族のために祈ります。

名古屋教区公式ホームページ http://www.nagoya.catholic.jp/

新しく出発する一粒会

一人ひとりの洗礼の召命、 そこから生まれる司祭召命のために

教区司教 松浦悟郎

この度、名古屋教区の一粒会が大きく姿を変え、会員制から教区民全員がメンバーとなって支えていくという新しい形での出発することになりました。

この機会に、召命について考え、これからの一粒会について説明したいと思います。なお、ここでは、召命を次の3つの分類で考えます。

①信徒一人ひとりに与えられる召命(洗礼、固有の召命)
②修道者(男子、女子)の召命
③叙階(助祭、司祭、司教)への召命

名古屋教区の一粒子は、歴代司教のもとに次のよ

うなあゆみをたどってきた。その理由、およびその具体的内容については以下のとおりです。

*松浦司教時代：信徒の有志によって司祭召命を支援するために「マルタ会」が結成される。

*相馬司教時代：マルタ会を充実して会員制の一粒会が組織され、司祭召命を支援する。

*野村司教時代：会員制の一粒会として定着して活動。一粒会の目的の中に、神学生のた

めだけでなく、叙階後も生涯、司祭職を全うするために祈り支えることが入った。

これからの一粒会
これまで、多くの信徒が会員となり、長きにわたって祈りと献金で司祭召命を祈り、神学生のために献金を続けてきてくださいました。私は、この一粒会というしっかりとした地盤の上に立つて、次の世代のために司祭召命を名古屋教区の信徒全員で求めていく形に発展させたいと考えま

た。その理由、およびその具体的内容については以下のとおりです。

1. 司祭が生まれることは教会全体の願いです。司祭と信徒が共にいることなしに教会はありえないからです。司祭は神の民の中から選ばれ、派遣されていきます。そのことを表すためにも、一粒会の会員になった有志の信徒だけでなく、教区民全員が司祭召命を祈り、神学生の生活を支える形にしたいと考えます。

2. 教会自体が少子高齢化しているように、一粒会の会員も高齢化し、またその召命への思いが次世代に受け継がれにくくなっています。一方、一粒会には神学生(一人当たり年間300万円)だけでなく、神学生を養成する(年間800万円)を担っています。それは、自分の教区だけでなく、日本の教会全体で神学生を養成するための神学校を

支えることも必要だからです。現在、名古屋教区では年間約700万円が入りますが、それを、日本の神学校をはじめ、教区、各修道会の神学生のためにそれぞれ援助しているために一粒会ですべてをまかなうことが出来ていません。一粒会の目的を継続していくためにも、教区民全員の支えが必要となります。

3. 「一粒会の日」の設置
去る2月4日の宣教師牧評議会において、名古屋教区では毎月、第一日曜日を「一粒会の日」とし、司祭召命のために祈ることが決まりました。その日には、教区内のすべての小教区や修道院で召命のために祈ります。そのための祈りのカードを活用してください。どこでどのような形で祈るか、それぞれに任せられています。

4. 献金方法について
以下の二通りの方法があります。

①記名式(従来通り)
一粒会献金袋(青色)を全員の維持費の欄に置きます。献金額は自由です。維持費と同じ方法で教会に納めます。

②無記名式
毎月第一日曜日「一粒会の日」に献金箱と一粒会献金袋を用意します。その中に自由に献金を入れて教会に納めてください。献金は第一日曜日だけではなく都合のつくときでも結構です。

なお、会計処理のことについては、別途担当者からの説明があります。洗礼の恵みを生きたことがあらゆる召命の基礎「司教書」の基本方針3に示したように、キリストの教会になるためにはまず私たち一人ひとりが「洗礼の召命」(固有の召命)に気づき、それを喜んで生きていくことが大切です。もし、社会の中で信仰を生きた意欲や人々に福音を伝える熱意が私たちの中になければ、どうして司祭や修道者になりたいと思う若者が出てくるでしょうか。召命は、何よりも私たち一人ひとりが熱意を持ってキリストに従って生きていきたいという望みの中に与えられるものです。今回、一粒会を信徒全員メンバーとする意味の第一はそこにあります。召命のために祈り、

献金をするたびに、一人ひとりが固有の召命を生きた決意を新たにできると願います。

また、教区としては、青年たちが召命を自分のこととして考えられるように、さまざまな機会をつくってこうと計画しています。

新しい形での一粒会の始まりにあたって忘れてはならないのは、名古屋教区で一粒会が立ち上がった皆さまが日々、召命を祈り、献金によって神学生を支えてくださったことです。会員の中に、はすでに亡くなられた方も多くおられますが、感謝のうちに

うした皆さま方のこれまでの長い努力によって教区だけでなく、修道会、宣教会に多くの司祭が生まれました。心から感謝いたします。



どがあった。そして福音書、指輪、

那覇教区で、ウエイン・フランシス・バートン司教叙階

那覇教区の安里教会(那覇市)で2月12日、ウエイン・フランシス・バートン司教の叙階式が行われ、長崎教会管区の高見三明大司教(長崎教区)が主司式した。教皇

による任命書が朗読され、バートン(被選)司教が司教としての務めを果たしていく決意を参列者の前で表明。司教たちからの接手を受け、叙階の祈り、塗油を受けるなどがあった。そして福音書、指輪、ミトラ(司教帽)、バクルス(司教杖)を受けた後、教皇大使の招きで司教座(司教が座るイス)に着座。押川壽夫司教の後継者として正式に那覇教区の司教になった。その後のミサはバートン司教が主司式。高見大司教や押川司教、教皇大使ジョセフ・チェノットウ(カトリック中央協議会より抜粋)

2018年名古屋教区司教叙階 司祭叙階 修道者・奉献生活者の金銀祝 野村純一司教叙階25周年

①記名式(従来通り)
一粒会献金袋(青色)を全員の維持費の欄に置きます。献金額は自由です。維持費と同じ方法で教会に納めます。

日 時 3月21日(水・祝) 14:00~17:00
場 所 カトリック布池司教座聖堂及び地下ホール
主司式 ミカエル松浦悟郎司教
内 容 14:00金銀祝記念ミサ 16:00地下ホールで茶話会
会 費 無料
主 催 カトリック名古屋教区

第31回 四旬節黙想会のお知らせ
~障害をもつ人々と共に~
今回は多治見修道院研修センターの緑豊かな大自然の中で、神様の愛に抱かれながら過ごします。
テーマ 「君たちは どう生きるか」
指 導 片岡義博神父(富山地区担当助任司祭)
日 時 3月17日(土) 受付12:00~ 18日(日) 15:15解散予定
会 場 多治見修道院研修センター 多治見市緑ヶ丘38
定 員 40名
参加費 9,000円(一泊3食付) 日帰り3,000円(一食付)
参加費は当日集金します。3月12日以降のキャンセルは実費をいただきます。
申込先 カトリック名古屋教区障害者連絡会
〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15 社会福祉委員会
Fax 052-852-1422 ファクスまたは郵送のみ(電話申込みはできません)
締切り 2月28日(水) 当日消印有効
詳細は配布済みの黙想会の案内をご覧ください。
連 絡 黙想会の前にカトリック名古屋教区障害者連絡会の総会を開催します。

金銀祝の方々の紹介
司教叙階 銀祝
野村純一名誉司教
司祭叙階 金祝
シーランド・ジョン神父(瑞浪教会・神言修道会)
ハンフリーズ・クリストファー神父(みこころセンター・聖心布教会)
スワイアテック・ニコラス神父(瀬戸教会・コンベンツアル聖フランシスコ修道会)
修道者・奉献生活者誓願 金祝
Ms. 林カズ(聖マリア在俗会)

第47回名古屋教区典礼研修会 共同・共働
~司祭と信徒がともに築く典礼~
講 師 梅村昌弘司教(日本カトリック典礼委員長)
日 時 3月3日(土) 10:00~16:00頃(受付は9:30より)
15:00より閉会の感謝ミサ
場 所 南山教会マリア館 名古屋市昭和区南山町1
交 通 地下鉄鶴舞線いりなか駅下車徒歩7分
参加費 500円(昼食、飲み物は各自持参)
申込み 詳細は各教会に配布済みの申込用紙に記入の上、ファクスで申込みください。
Fax 052-804-8878

終生誓願式及び 助祭叙階式のお知らせ
神言神学院では二人の有期誓願会員が終生誓願と助祭叙階の恵みをうけるはこびとなりましたので、ご案内いたします。
終生誓願式
日 時 3月9日(金) 16:00~
場 所 神言神学院大聖堂
誓願者 サムエル 荒田啓示
ヨセフ グエン・タン・ヒ
助祭叙階式
日 時 3月17日(土) 10:00~
場 所 神言神学院大聖堂
受階者 サムエル 荒田啓示
ヨセフ グエン・タン・ヒ
神言神学院院長 レジモン・ヴァルギース

がんばっぺし東北!

大阪教会管区～東日本大震災応援ツアー2018年度
カリタス大船渡ベース～カリタス南三陸(旧米川ベース)

今までの多大なる支援に対する感謝を、大阪教会管区の方々に伝え、大船渡と南三陸の現況を見ていただく企画です。東日本大震災の記憶の風化が進み、被災地からは「私たちは忘れられた」という声が聞こえてくる。大阪教会管区で運営するベースと連携し、関心や魅力を感じて貰えるように、被災地案内やボランティア活動だけでなく、大船渡のケセン語聖書の山浦先生の講演や、米川のキリシタン殉教地などの巡礼ツアーも含み復興応援と殉教地巡礼を組み合わせて信仰から復興支援につながっていくツアー企画です。この機会にぜひご参加ください。詳細や行程などは各教会に配布済みのチラシをご覧ください。

- 実施予定日 第1回 6月5日(火)～7日(木)
第2回 7月3日(火)～5日(木)
第3回 9月25日(火)～27日(木)
第4回 10月23日(火)～25日(木)
- 受付開始 各回ともツアー開始日の2か月前より
- 対象 大阪教区管区の方。関心をお持ちの全国の方も可
- 締切 ツアー開始日の2週間前
- 定員 9名(最少催行人数4名)
最少催行人数に満たない場合は、締切日の翌日に大船渡ベースからご連絡します。初日の花巻空港から最終日の仙台駅までは、スタッフが運転するベース車両で移動
- 参加費 参加費は一括集金は致しません。旅行保険代+滞在経費=1,160円大船渡ベース到着後お支払。食事、温泉代などは参加者の実費負担
- 申込窓口 大阪教会管区応援ツアー申込書を下記あて連絡
カリタス大船渡ベース
☎& Fax 0192-47-4737
E-mail ofunatobase@gmail.com

司教団から

「改憲」反対署名のお願い

日本カトリック司教団社会司教委員会(浜口末男委員長=大分司教)は、日本国憲法改憲の方向に進もうとする政府の動きに危機を感じ、全国の市民レベルで行われている『安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名』(通称:3000万人署名)の趣旨に賛同し、署名呼びかけに協力することを決定し、日本全国のカトリック信者に「教会で、家庭で、周囲のお友達に対して、ぜひこの署名への協力を呼びかけていただきたい」との「日本国憲法改憲の動きに反対するための署名協力をお願い」を2月1日、浜口末男委員長(大分司教)の名前で発表した。

「お願い」はまず、日本のカトリック司教団が「平和主義、信教の自由や基本的人権の尊重を掲げる日本国憲法を支持し、日本国憲法を守るために積極的に行動する立場」ととっていること、そのことは「戦後70年司教団メッセージ」や「いのちへのまなざし」などでも「くりかえし、教会にも日本社会に対しても公にしてきた」と説明。

しかし、1月に始まった国会での首相施政方針演説では改憲議論前進への期待を示すなど、日本政府は「改憲」の方向へ進んでおり、一方で市民の間では「改憲」に反対する署名行動がすでに進められている。これに日本司教団社会司教委員会として、賛同・協力を決定し、広く協力を呼びかけるとのこと。

署名用紙のとりまとめは日本カトリック正義と平和協議会が行い、期日は5月末日となる。

第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018名古屋大会

共に生きる地球家族

—今問われる、わたしたちの選び、わたしの決意—

- 主催 カトリック名古屋教区
- 共催 日本カトリック正義と平和協議会
大会実行委員会事務局(福信館内)
☎052-935-7180 Fax 935-7195
E-mail: s.fukuin@nagoya.catholic.jp

カトリック名古屋教区は「日本カトリック正義と平和全国集会2018名古屋大会」を、来たる11月23日(金・勤労感謝の日)、24日(土)の両日、カトリック布池教会を中心とする名古屋市内および近郊の教会・施設を会場にして開催します。初日はシンポジウムと交流会、二日目が分科会と全体会およびミサという概要です。

「正義と平和全国集会」は、日本カトリック司教協議会の下で社会にかかわる委員会・団体(カリタスジャパン、難民移住移動者委員会、部落差別人権委員会、子供と女性の権利擁護デスク、HIV/AIDSデスクなど)がその時々のトピックをテーマに開く分科会をメインに、全国のカトリック信者が神の国の実現のためにどのような働きができるかを共に考え、学び、祈る集まりです。また、名古屋教区からもいくつかの分科会が準備される予定です。

以前から名古屋教区開催の打診があり、それに応えて一昨年2016年10月の教区宣教司牧評議会で開催を決定しました。2015年の東京大会から3年ぶりの開催となりますが、これは松浦司教による司教教書(2016年1月)の「基本方針」および目標①「神のいつくしみを表す教会になる」、②「弱い立場に置かれた人々を中心とした社会を目指す」の具体化でもあります。

どうか、みなさん、11月23日、24日に向かって教区がひとつになって取り組んでまいりましょう。

世界祈禱日

テーマ 「すべて神の造られたものとはとてもよい」
—スリナムからのメッセージ—

- 日時 3月2日(金) 10:00～12:30
受付は9:30より
- 会場 在日大韓基督教会
名古屋市中村区名駅2-39-11
☎052-541-1980
名古屋駅下車、徒歩10分
詳細はチラシを参照ください
- 主催 日本キリスト教団、日本聖公会、カトリック、日本福音ルーテル教会、在日大韓基督教会、救世軍
- 問合せ 浜野 090-6586-5485
- その他 受付、開始時間が変更となっています

映画「修道士は沈黙する」

映画の紹介をします。
ドイツの高級リゾートホテルを舞台に繰り広げられる社会派ミステリー
イタリアの鬼才ロベルト・アンドー監督+豪華俳優たちの競演!
名古屋地区は名演小劇場で3月24日より上映します。ぜひご覧ください。

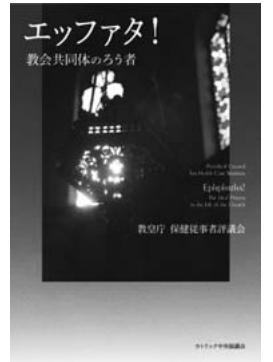


上映日 3月24日(土)より2～3週間の予定
名演小劇場:名古屋市中村区東桜2-23-7 ☎052-931-1701
上映日時は、電話で確認してください。

新刊書

「エッフアタ！」

バチカンで2009年保健従事者評議会主催により開催された、ろう者をめぐる画期的な国際会議の講演録です。ろう者、聴者それぞれを含め、司牧者、カテキスタ、教育者、医師、そして一般の生活者など、さまざまな立場からの発言を収めており、ろう者の抱える信仰上の諸問題を示すとともに、信仰の視点を通して、その生活や教育における問題も浮き彫りにしています。



「エッフアタ!」教会共同体のろう者 定価本体2000円+税
問合せ、ご注文は下記まで
カトリック中央協議会・出版部
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4429 Fax 03-5632-4456

南山大学創立50周年記念基金事業 国際教養学部開設記念 公開講演会

- 日時 3月3日(土)
14:00～15:00基調講演
15:30～16:30パネルディスカッション
- 会場 南山大学D棟 DB1教室
名古屋市中村区山里町18
- 基調講演 テーマ「時のしるし」に込めて一岐路に立つ現代世界の中で—
講師 カトリック名古屋教区 松浦悟郎 司教
- パネルディスカッション
テーマ 人間らしく自立した個人として生きるために
コーディネーター:斎藤衛(以下敬称略)
パネリスト:松浦悟郎、金承哲、神崎宣次、Volpe, Angelina、山岸敬和
- 定員 300名 参加費 無料
- 交通 公共交通機関をご利用ください。駐車場はございません
- 問合せ 名古屋市中村区山里町18
南山大学南山エクステンション・カレッジ事務室
☎052-833-6957 Fax 052-832-4306
E-mail/extension-s@nanzan-u.ac.jp
詳細は配布済みのチラシをご参照ください

2018年「四旬節愛の献金」のお願い 2月14日～3月29日

今年の四旬節は、まさしく御父のいつくしみを多くの人に具体的に示す時です。わたしたちは御父のいつくしみに生き、具体的に生きるようにと派遣されています。四旬節の献金は犠牲としてささげる心をもって行う愛の業にほかなりません。この40日の間、犠牲の心を持って献金にご協力くださり、教会の愛の業にも参加して下さいますようお願いいたします。

カリタスジャパンでは、世界で起こる自然災害、紛争によって傷ついた人々への緊急災害支援にとどまらず、「いのち」を守るための活動や、少数民族の子どもたちの教育支援、そして女性の自立支援など、時間をかけて取り組まなくてはならない課題のために活用されています。カリタスジャパンのこうした国内外の支援は、皆様の募金によって支えられています。大半はこの四旬節献金によっています。

ご協力を宜しくお願いいたします。献金は名古屋教区本部事務局を經由しカリタスジャパンへ振り込まれます。

問合せ 名古屋教区社会福祉委員会
☎052-852-1426 Fax 052-841-2225

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	2011.3.17発災から 2018.1.31までの合計
	1/1～1/31	
募金、ご寄付 収入合計	(※1) 109,373	28,849,808
ベース他支援 支出合計	0	27,827,821
	支援金残高合計	1,021,987

(※1) 1月度に支援金のご協力いただいた小教区等 (敬称略)
金沢、福井、富山・メサイヤ実行委員会

☆3月11日は13:30から布池教会で、宗派をこえて共に追悼・復興を祈る集いが行われます。皆様のご参加をお待ちしています。

★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とカリタス米川ベース、NPO法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

☆大阪教会管区は「東日本大震災応援ツアー(大船渡ベース～南三陸ベース)」を行います。

第1回6/5～7・第2回7/3～5・第3回9/25～27・第4回10/23～25
詳しくは社会福祉委員会へ

★各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載されています。http://caritasjapan.jugem.jp

★支援金振込先
郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

ご連絡・問合せ先
社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

3月の教会暦
(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日

2日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日

4日(日) 四旬節第3主日

11日(日) 四旬節第4主日

17日(土) 日本の信徒発見の聖母(祝)

18日(日) 四旬節第5主日

19日(月) 聖ヨセフ(祭)

21日(水) 祝名古屋教区司教座聖堂献堂記念日

25日(日) 受難の主日(枝の主日)

29日(木) 世界青年の日

29日(木) 聖木曜日(主の晩さん)

30日(金) 聖金曜日(主の受難)(天京小斎)

31日(土) 聖土曜日 聖地のための献金

4月の主な教会暦(主日・祭日など)

1日(日) 復活の主日(祭)

8日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)

9日(月) 神のお告げ(祭)

11日(水) 聖スタニスラオ司教殉教者(記)

15日(日) 復活節第3主日

22日(日) 復活節第4主日

25日(水) 聖マルコ福音記者(祝)

29日(日) 復活節第5主日

教区行事予定 (* 松浦司教)

3月

2日(金) 世界祈祷日

3日(土) 典礼委員会研修会 濃尾B会議

4日(日) 高蔵寺教会堅信式* 教会学校教師会*

5日(月) 難民移住移動者委・研修会

6日(火) 社会福祉委員会

10日(土) 信徒協理人会

11日(日) 東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願の日* 三河B会議/教区中高生会

13日(火) 樹の会

17日(土) 18日(日) 教区障害者の黙想会

18日(日) 城北B会議/城東B会議/城南B会議

20日(火) カトリック看護協会例会

21日(水) 祝司教・司祭・修道者金銀祝の祝い*

24日(土) セクシヤルハラスメント対策委員会(祈りと償いの日)の集い

26日(月) 28日(水) 教区中高生会春のフォーラム*

28日(水) 聖香油ミサ* 教区顧問会* 司祭・助祭の集い

31日(土) 教区法人評議会*

4月

8日(日) 教区中高生会/女子修道会・在俗会連盟総会*

10日(火) 樹の会

12日(木) 教区顧問会

14日(土) 信徒協理人会

15日(日) 愛岐B会議

17日(火) カトリック看護協会例会

19日(木) 月集*

21日(土) 典礼委員会

22日(日) レジオ名古屋クリア

24日(火) 安城教会堅信式*

29日(日) 難民移住移動者委員会

30日(月) 浦上四番崩れ流配者のため

30日(月) 彌殉教者祭(金沢・卯辰山)* のミサ/信徒協理委員会

教区行事以外の松浦司教予定

3日(土) 南山大学講演会

7日(水) 日本カトリック難民移住移動者委員会

8日(木) 常任司教委員会

10日(土) 「祈りと償いの日」集い日(長崎)

19日(月) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

20日(火) 南山学園評議会

4月

5日(木) 常任司教委員会

10日(火) 大阪管区青年担当者会議

告知板

福信館便り ☎052(935)7180

3月の炊き出し 木1日布池

8日東海・樹の会・南山、15日聖霊

樹の会・南山、22日城北橋、29日

南山 金2日喜望の会、9日喜望の

会、16日布池、23日長浦、30日江南

人事異動(第一次) (内は前任地など)

2月3日付 4月着任

城北ブロッック 平澤忠雄(守

山教会) 平澤忠雄(守山教会)

守山教会主任司祭 平田政信(小

牧教会主任司祭兼任) 早川和彦

同助任助祭 早川和彦

城南ブロッック フランシスク

南山教会助任司祭 フランシスク

ス・アシジ・モルク(長崎) 神言会

平針教会主任司祭 イグナシウス・クリステリアヌス・バサ(助任司祭) 神言会

城南ブロッック 飯野耕太郎(秋

田) 神言会

三河ブロッック 北村雅彦(助

任司祭)

同協力司祭 岩崎二三(主任司

祭)

安城教会主任司祭 ボグスワフ・

ノヴァク(サバティカル) 神言会

豊橋教会主任司祭 ピリスブツレ

ジュード(福岡) オブレイト会

その他(教区内) 異動

三河カトリックセンター フェレ

イラ・アンセルモ(ブラジル研修

神言会)

ドミンゴス・デ・ソウサ(ロゴスセ

ンター) 神言会

多治見修道院 森山勝文(平針教

会主任司祭) 神言会

その他教区外へ

仙台教区(福島)へ派遣 狩浦正

義(布池教会協力司祭)

ポルトガル語研修へ ビ・アント

ニー(安城教会主任司祭) 神言会

新潟教区へ フェルディナール・

ファミニアラガオ(布池教会助任司

祭) 神言会

新潟教区へ キシヤケール・ビジュ

(長浦教会主任司祭) 神言会

長崎教区へ ホセ・サントス(多

治見教会助任司祭) 神言会

新潟教区へ 楊成源(南山教会

助任司祭) 神言会

建設費の返済に協力を 577件 28,713,675円 目標額 40,000,000円 (1月末) 達成率 約71.8%

主にささげる24時間~聖体礼拝 2017年10月より主税町記念聖堂で月に2回、聖体礼拝が行われています。

第3回『あとから来る者のために』原発研修会 どなたでも、お気軽にご参加ください。

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ 「ロザリオの祈り」 第2日曜日 14:00~(40分程度) 3月休み 「読書会」 第3土曜日 3月17日(土) 14:00~15:30

東日本大震災・福島原発事故 犠牲者追悼・復興祈願の日 ~宗派を超えてつなぐ祈りの手~ カトリック・プロテスタント・仏教界

「青年のための聖書の学び」3月18日(日) テーマ ルカ14章『宴会』神の国で食事をする人 対象 青年男女(18~32歳) 時間 午後2:00~7:50(高校生4:30まで)

福信館「春のバザー」2018 ホームレス炊き出し支援バザー 支援バザーに皆様のご協力をお願いします。